

2020年5月25日

モスマイト型反射防止フィルム『モスマイト™』を絵画額装用途に拡販

三菱ケミカル株式会社

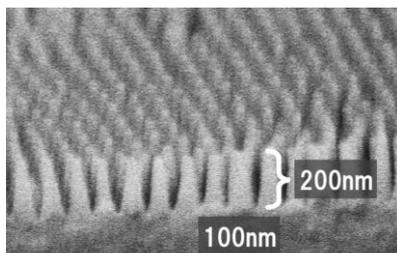
三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、当社が開発したモスマイト型反射防止フィルム『モスマイト™』（以下「モスマイト」）を絵画額装用途に拡販いたします。当社のアクリル樹脂板「アクリライト」及びモスマイトを取り扱う藤光樹脂株式会社（本社：東京都中央区、以下「藤光樹脂」）が、アクリル樹脂板の両面にモスマイトを貼合した低反射アクリル板を額装向けに販売開始するものです。

当社が開発したモスマイトは、蛾の眼（モスマイト）が持つ微細な突起構造を模倣した反射防止フィルムです。モスマイトの表面には高さ 200 ナノメートルの突起が 100 ナノメートルの間隔で並んでおり（写真①）、この突起の幅が可視光線の波長よりも狭いことで、光の屈折率の変化が緩やかになり、光の反射を抑制することが可能です。一般的なガラスやプラスチックの表面は光の反射率が通常 4～5%程度ありますが、それらの表面にモスマイトを貼付することにより反射率を 0.1～0.3%にまで抑え、絵画の鑑賞を妨げる表面の反射を防ぐことができます。（写真②、図①）

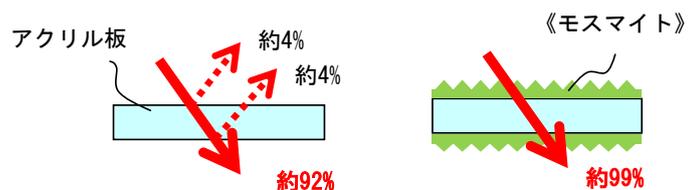
当社はこれまで、佐藤美術館（東京都新宿区）が開催する展覧会に協賛し、2017年11月「吾輩の猫展」、2019年1月「絵本にみる日本画展」、2020年1月「ピクトリーブーケ展」に、モスマイトを両面に貼ったアクリル樹脂板を提供しました。これらの活動などにより、画家、画商や学芸員の皆さまから好評を得たことから、今般、藤光樹脂と共同でこの分野への事業展開を強化することといたしました。

当社は引き続き、モスマイトの新たな用途開発・市場開拓を目指し、国内のみならず、グローバルに事業を展開させ、更なる拡販に努めてまいります。

以上



写真①：モスマイトの拡大写真



図①



写真②： 左・モスマイトなし 右・モスマイトあり

出典：秋野左牟・画『punkマインチャ』（福音館書店）©1968 Kazuko Akino（秋野和子）

お問合せ先
 株式会社三菱ケミカルホールディングス
 広報・IR室 TEL 03-6748-7140